

ドラマ：世にも奇妙な物語「ネチラタ事件」

フジテレビ

原作：星新一

このビデオを見て以下の問いに答えなさい。

1. 括弧に入ることばを書きなさい。
2. どんな感じがするかをグループで話し合え。
3. わからないことばをグループで話し合え。

1 あれ？アンドウ先生いないんだ。

— 研究室 —

学生：あれ？アンドウ先生いないんだ。

男：何かね？

学生：うん、これ。資料。アンドウ先生に頼まれてたんだけどなあ。そっか。いないんだ。

男：アンドウ先生に頼まれていた資料を持って参りました。どういたしましょうか。

学生：アンドウ先生に頼まれていた資料を持って参りました。どういたしましょうか。

男：先生は学会です。そこに置いておいてください。

学生：ほんじゃよろしく。

男：まったく。これじゃないんだ。

2 お父様、お茶が入りました。

— 自宅 —

娘：お父様、お茶が入りました。お父様ずいぶん御熱心ね。

男：うむ。このごろ、日本語が乱れているとは思わないかね。

娘：日本語が？ええそうね。造語なんかが増えて、時々意味のわからないことがありますわ。

男：そうなんだ。それにうちの学生なんかを見ていると、口の聞き方を知らない者が多くてね。時々イライラを通り越して、ぞっとする時があるよ。

娘：お父様らしい。御父様って、言葉づかいには特に敏感ですものね。

男：うむ。せっかく綺麗な日本語があるんだからね。みんなにも、勉強し直してもらいたいものだね。

娘：お父様が一度、汚い言葉を使うのって、聞いてみたいですよ。

男: おいおい、私を殺す気かい？しかし、サトコがいい子に育ってくれて本当によかったよ。どこに出しても恥ずかしくない。お父さんの自慢だ。後は、立派な男性に嫁いでもらうだけだな。そうすればあの世に行っても、お母さんに責められないですむ。

娘: お父様ったら。

男: でも私の心配も明日のお見合いでおしまいかもしれないね。キムラ教授の紹介だしね。なかなか素晴らしい男性らしいよ。ま、サトコの気持ちが、一番だね。

3 どうなってるんだ一体。

— 翌朝 —

ニュース女: 早く (1.)、この野郎、いつまで寝てんだよ。 あたいが今から8時のニュースを読んで (2.)。耳の穴 (3.) よく聞きやがれ。 グラニア共和国の親玉が子分ぞろぞろ ひきつれて、今朝一番に成田に着きやがってよ。 ま、その (4.) がいいやね。こんないい国見たことないなんてぬかしやがって、 (5.) 笑わしてくれるぜ。 今日から三日間も東京見物するんだってよ。 まあ、のんきなこってうらやましいやね。

天気女: 天気予報だぜ。高気圧なんて生意気なもんが張り出しやがってよ。 ま、 (6.)、こんな高級なことはわかんねーんだろーな。 ま、とりあえず今日は晴れるってことだけど、ま心配だったらてめーんこのボロ傘でも持って出かけんだな。 そんじゃ今から、首都圏各地の降水

— 近所 —

近所の女: おいそこのオヤジ。おめーだよ、おめー。

男: 私？

近所の女: おめーしかいねーだろー。 ったく寝惚けた顔しやがって。 道で (7.) よ。 とっとと行っ
て来な。

— 道で —

中老の男: やい！そこのおまわり！区役所行く道、教えやがれ。

警官: いいか。くそったれジジイ。 (8.) じゃなかったら、あそこにうすぎたねえビルが見えるだろう。あれがそうだ。さあ、とっとと (9.)。

— 葬式 —

喪主: 本日は、忙しくもねーのに、こんなに (10.)。 ありがてーこったよ。 やつは、マジで、いい野郎だったが、滑って転んで、ドタマ打って、 (11.)。 迷わず、成仏しやがれってなもんだ。

参列の女: まったく、くそったれがねえ。

— 駅 —

駅員: 列車は、てめえらが、 (12.)、入って来るだろうよ。 ホームにいる、グズども。早く白線の内側に、さがりやがれ。ぼやぼやしていると、ふっ飛ばされても、知らねえぞ。 ほらきた。 ドアが開いたら、乗り降りは、 (13.)。

男: どうなってるんだ、一体。

— 研究室 —

男: あ、アンドウ先生。大変なことが起こりました。

教授: ああ、ケンジョウ君か。君も、気づいたかね。いやー、ほんっとに、大変なことになったなあ。
ははは。いやあ、私が培養していた細菌、あれが原因らしいんだよ。

男: ネチラタ菌ですか。

教授: ああ。実はね。夕べうっかりして、この、びんを割っちゃってね。動物実験では、毒性はなかったんだが、人間の言語中枢に働きかけて、言葉をぞんざいにしてしまうらしいんだよ。

男: でも、どうして私と先生はなんともないんでしょう。

教授: それは、あれだ。きっと、ずっーといじっていたんで、免疫ができてたんだな。ま、人命には、影響がないから、心配いらないよ。

男: 何を言っているんですか。早くワクチンを作らないと大変なことになりますよ。

教授: いやいや、そんなあせることないよ。ことばの価値観なんてものはね、あつてないようなものだからな。みんな問題なくやっているようじゃないか。ははは。

男: そんな悠長な。私も手伝います。すぐにワクチンを。

教授: ケンジョウ君、君、今日、見合いじゃなかったっけ？

男: あ、そうでした。

教授: おいおい、そのネクタイで行く気かね？

4 どうしてこうなるんだ？そうか、逆だ。

— エレベータ —

エレベータの女: よく来たな。(14.)。上、行くぜ。ドア閉めるから、テメエら、足、挟まれるんじゃないねえぞ。何階で降りるか、言ってみやがれ。3階はババア用の服。4階は(15.)なんかがおいてあらあ。5階はガキどものガラクタ売場だ。早くいわねえと、(16.)。

男: それにしても、聞くに耐えん。

— ネクタイ売場 —

女の店員: このトンマめ、(17.)よ。え、何がほしいんだ、言ってみやがれ。

男: もし、お手数でなければ、このネクタイをいただきたいのですが。

男の店員: お客さん、この(18.)が、何か失礼なことでも(19.)？

男: いや、私はこのネクタイがほしいだけなんです。

男の店員: このコンチキやろう、金なんかいらねえから、これ持って、とって、とっとと帰りやがれ！

— 街 —

男: どうしてこうなるんだ？そうか、逆だ。丁寧なことばはぞんざいに、ぞんざいなことばは丁寧に、逆の意味に聞こえるのか。となると、私もこれからは汚いことばで話さなくてはならないのか。

先生: よう、久しぶりだな、このスットコドッコイ。

学生: 先公も元気そうじゃないか。

男の子: このノロマやろう、時間ねえんだからな、チキショウめ。

女の子: 何言ってやがんで、このトンチンカン。

男の子: テメエ、あれが見えねえのかよ。

夫: うちが火の車だって、テメエがよくいってるだろうに。

妻: それは...

(省略)

男: 私にはとても耐えられない。

ヤクザ A: とても痛かったんですけど。

ヤクザ B: どこを見て歩いてらっしゃるんですか？

男: え、まあ、本当に申し訳ない。しまった。丁寧は逆だ。

ヤクザ A: あなた、因縁をつけようとしてらっしゃるんじゃないでしょうか？

ヤクザ B: 何とかおっしゃっていただけませんか。

男: 汚いことば、汚いことば。

ヤクザ A: 痛い目にお会いになりたいんでしょうか？

ヤクザ B: どうなんでしょうか？

男: 私には言えない。

ヤクザ A: お待ちになって！

ヤクザ B: なめてらっしゃるんですか？

— 料亭 —

料亭の女将: よく来やがったな。この唐変木が！(20.)が待っていやがるぜ。

男: どうすればいいんだ。

仲人の女: 高気圧なんて(21.)が張り出してやがったが、おかげで晴れやがって、まあ、よかったじゃないか。ほほほほ。

息子の父: このくそガキや、晴れ男なんちゅうて、呼ばれて(22.)。

息子の母: まったく、てめえの娘は(23.)。

息子: どうでもいいけどよ、琴なんか、(24.)、やってやがるんだってな、このやろう。今度、一度、聞かせてみせやがれ。

娘: たいしたことねえけどよ、今度聞かせてやらあ。耳の穴、(25.)。

仲人の男: なかなか似合いじゃねえか。おめえ、どう思いやがる？何をちんたらしてやがんだい！(26.)が聞きてえんだよ。

男: サ、サトコのためだ。うちの(27.)も気に入ったみてえだし、田中の馬鹿息子も(28.)だから、二人で(29.)するのもいいんじゃないか。まちがえた？

仲人の男: この(30.)が、そりゃ、いいぜ。はははは。はははは。